

第4章 資料編

1. まちを構成している要素別索引	76
1-1. まちを構成している要素と都市計画制度	76
1-2. まちを構成している要素と まちづくりテーマとの関連性	77
2. 関連資料	86
2-1. 土地利用の方向性 （『岸和田市まちづくりビジョン 将来構想 第2章 第3節 3土地利用の方向性より』）	86
2-2. 土地利用の方針 参考図	90
2-3. 災害に強いまちづくり 参考図	91
3. 見直しまでの経過	97
3-1. 見直しまでの取組	97
3-2. 見直し体制	98
4. 用語解説	100

① まちを構成している要素別索引

1-1. まちを構成している要素と都市計画制度

まちを構成している要素		主な都市計画制度			
		<u>土地利用</u> 土地利用とは、土地の状態や用途など土地の利用状況です。 まちの将来像の実現に向け、土地利用を規制・誘導する制度です。	<u>都市施設</u> 都市施設とは、都市の骨格を形成し、円滑な経済活動や良好な住環境を確保するために必要な施設です。 まちの将来像の実現に向け、これらの施設を必要に応じて都市計画に定め、整備を促進する制度です。	<u>市街地開発事業</u> 市街地開発事業とは、既成市街地やこれから市街化を図る地区において、面的に計画的なまちづくりを進める事業です。 まちの将来像の実現に向け、道路・公園などの整備や宅地の造成、建築物の改善を行う制度です。	
交通施設	道路	—	<u>道路</u>	土地区画整理事業 防災街区整備事業 市街地再開発事業 外	
	鉄道	—	<u>都市高速鉄道</u>		
	バス	—	—		
	駐車場	—	<u>駐車場(自転車・自道車)</u>		
	ターミナル	—	自動車ターミナル 外		
公園・緑地等	公園	—	<u>公園</u>		
	緑地・広場	—	緑地・広場		
	墓園	—	<u>墓園</u>		
	農地	<u>生産緑地地区</u>	—		
	山（樹林地）	緑地保全地域 特別緑地保全地区	—		
	河川・水路	—	河川・運河その他の水路		
	ため池	—	—		
建築物	<u>工業・流通業務地</u> 工場や倉庫などの流通施設が集積した地区	<u>区域区分</u> <u>用途地域</u> <u>特別用途地区</u> <u>高度地区</u> 高度利用地区 特例容積率適用地区 外 駐車場整備地区 外 <u>臨港地区</u> <u>防火地域・準防火地域</u> <u>特定防災街区整備地区</u> <u>風致地区</u> 緑化地域 景観地区 伝統的建造物群保存地区	—		
	<u>商業・業務地</u> 商業店舗や事務所などが集積した地区				
	<u>一般市街地</u> 住宅地の店舗が混在している地区				
	<u>集落地</u> 古くからある集落で、農林漁業従事者が多く住む住宅地				
	公共建築物	—	学校・図書館・病院 外		
供給処理施設	水道 等	—	水道・電気・ガス供給施設		
	下水道	—	<u>流域下水道</u> <u>公共下水道</u> <u>下水処理場</u>		
	廃棄物処理施設	—	<u>ごみ焼却場</u> その他の処理施設		
	火葬場	—	<u>火葬場</u>		

地区計画

地区の課題や特性を踏まえてまちづくり目標を設定し、その実現に向けて詳細な建築物の用途・形態規制を定めたり、身近な道路・公園の整備を誘導する制度。

1-2. まちを構成している要素とまちづくりテーマとの関連性

まちを構成している要素 ○機能、●課題	関連性の深い まちづくりテーマと施策展開
道 路	
○市域内をつなぐ幹線道路は、広域幹線道路と連携し、人や資源を市域内で円滑に循環させる機能を持っています。これにより市内外の交流活性化に寄与します。	2-1.多彩な魅力と活力を備えたまちづくり P16
○車両の円滑な通行を確保する機能を持っています。 ●しかし、違法駐車は道路の機能を低下させ、交通事故の増加や、緊急車両の通行の妨げになるなどの課題があります。	(4)交流と連携を高める交通網づくり
○拠点をつなぐ広域幹線道路は、産業・交流の動脈としての機能を持っています。 ●一方で、大型車両の通行等により騒音・大気汚染などを発生する恐れがあります。	2-2.環境にやさしい、みどり豊かなまちづくり P19, 21
○幹線道路を適正に配置することにより、住宅地内の通過交通を減少させる機能を持っています。	(1)将来にわたって快適な生活環境の確保
○歩道整備が整った道路は、交通事故を防止する機能があります。	1)公共交通と連携したまちづくり
●道路等の舗装によるヒートアイランド現象や地下水の減少等が課題となっています。	2)快適で環境負荷の低減に配慮した市街地の整備・更新
○しかし、透水性舗装等を利用することにより、地下水涵養、ヒートアイランド現象の緩和、また雨水の下水・河川への流出抑制の効果があります。	(2)山から海につながる水とみどりの保全と形成
○広幅員道路は、風の通り道となることから、ヒートアイランド現象を緩和する機能を持っています。	3)水とみどりのネットワークの形成
○シンボルロードなど、街の顔となる機能があります。	2-3.地域で守り育てる景観まちづくり P23 ~26
○道路は、火災の延焼を遅らせる機能を持っています。 〔道路の幅員が6m以上あれば、その機能がより確保されるとされています。〕	2-4.災害に強いまちづくり P28 ~29
○緊急時には、消防車や救急車などの緊急車両の通行を確保し、また避難、救助活動を行うための空間確保の機能を持っています。 〔消防車が消火活動を行うには、道路の幅員が4m以上必要とされています。〕	2-5.人にやさしいまちづくり P31 ~32
○街路樹は、その樹種や規模によっては火災延焼を遅延したり、電柱などの倒壊による被害を緩和したりする機能を持っています。 ●しかし、強風時には、枝が折れるなど道路機能を低下させることもあります。 ●街路樹は、成長が進むと根による路面の隆起や倒木、また落ち葉による排水桝の目詰まりなど、維持管理上の課題があります。 ●道路は市内一円にあり、維持管理費がかさむなど、行政だけでは地域に応じたきめ細やかな維持管理が困難です。	(1)誰もが活動しやすいまちづくり 4)安心して暮らせるまちづくり 5)誰もが利用しやすい施設の整備 (2)地域で集うまちづくり 2)地域の公園・散策路の充実
○ファミリーロードなど地域で道路の維持・管理に取り組むことにより、地域への愛着や地域コミュニティを高める機能を持っています。	 田治米畑町線
○各建物や場所をつなぐ空間であり、通行空間として地域をつなぐ機能を持っています。	 東岸和田駅歩行者専用道
【その他、まちづくりビジョン市民会議ではこんな意見がありました】 ・管理しやすい道路だけではなく、付加価値のある道路も必要。	

まちを構成している要素 ○機能、●課題	関連性の深い まちづくりテーマと施策展開
鉄 道	
○都市拠点を連絡し、通勤・通学をはじめとする交通動脈としての機能を持っています。	2-1.多彩な魅力と活力を備えたまちづくり (4)交流と連携を高める交通網づくり P16
○拠点及び交通結節点をつなぐ鉄道は、産業・交流の活性化に寄与する機能を持っています。	2-2.環境にやさしい、みどり豊かなまちづくり (1)将来にわたって快適な生活環境の確保 1)公共交通と連携したまちづくり 2)快適で環境負荷の低減に配慮した市街地の整備・更新 P19
○鉄道敷は、火災の延焼を遮断する機能があります。	
●線路近くは、振動、騒音の課題があります。	
●踏切事故や交通渋滞を招いています。	
●市街地の中心地を横断していることによって地域を分断し、地域交流を妨げる一因にもなります。	2-3.地域で守り育てる景観まちづくり P23～26
	2-5.人にやさしいまちづくり (1)誰もが活動しやすいまちづくり 1)鉄道交通サービスの充実 4)安心して暮らせるまちづくり 5)誰もが利用しやすい施設の整備 P31～32
バ ス	
○主に市域内を結ぶ交通網としての機能を持っています。	2-1.多彩な魅力と活力を備えたまちづくり (4)交流と連携を高める交通網づくり 2)交流と回遊性を促進する交通網づくり P16
○鉄道交通と連携することにより、通勤・通学をはじめ生活利便性を支える機能を持っています。	
●自家用車の普及によりバスの利用頻度が低下し、これによって利便性を低下させ、利用頻度がさらに低下するといった悪循環も発生しています。	2-2.環境にやさしい、みどり豊かなまちづくり (1)将来にわたって快適な生活環境の確保 1)公共交通と連携したまちづくり 2)快適で環境負荷の低減に配慮した市街地の整備・更新 P19
	2-5.人にやさしいまちづくり (1)誰もが活動しやすいまちづくり 2)バス交通サービスの充実 3)公共交通と連携したまちづくり P31

まちを構成している要素 ○機能、●課題	都関連性の深い まちづくりテーマと施策展開
駐車場(自転車・自動車)	
○道路への違法な駐輪・駐車は、道路の安全な通行空間としての機能を低下させます。このため、集客施設や交流拠点の周辺に駐車場を適正に配置することにより、集客・交流機能の向上と周辺の生活環境を保全する機能を持っています。	2-1.多彩な魅力と活力を備えたまちづくり (4)交流と連携を高める交通網づくり 2)交流と回遊性を促進する交通網づくり P16
○鉄道交通と連携することにより、通勤・通学をはじめとする広域交通を補完します。	2-4.災害に強いまちづくり (1)防災性の向上 1)火災・震災に強いまちづくり P28
	2-5.人にやさしいまちづくり (1)誰もが活動しやすいまちづくり 1)鉄道交通サービスの充実 4)安心して暮らせるまちづくり P31～32
ターミナル	
○広域交通と市域内交通の結節点（駅・港）としての機能を持っています。このため地域ごとに、さまざまな機能を展開することが考えられます。	2-1.多彩な魅力と活力を備えたまちづくり (1)都市型産業の振興と交流のための拠点づくり (4)交流と連携を高める交通網づくり P14～16
○駅を中心にまちが発展・形成します。	
○港は、流通拠点としての機能を持っています。	2-2.環境にやさしい、みどり豊かなまちづくり (1)将来にわたって快適な生活環境の確保 1)公共交通と連携したまちづくり P19
	2-3.地域で守り育てる景観まちづくり P23～26 2-5.人にやさしいまちづくり (1)誰もが活動しやすいまちづくり P31～32



自転車等駐車場[蛸地蔵駅前]



駅前広場[岸和田駅]

まちを構成している要素 ○機能、●課題	関連性の深い まちづくりテーマと施策展開
公園	
○公園内の植物からの蒸散作用等により気温を低下させ、ヒートアイランド現象を緩和する機能や、騒音・振動の吸収、大気汚染緩和などの機能を持っています。	2-1.多彩な魅力と活力を備えたまちづくり (3)地域資源を活かした観光と交流の環境づくり P15～16
○都市化の進展により、地表面がアスファルトなどで覆われ、土壌の雨水保水性・浸透性が低下するなかで、公園は地下水を涵養する機能を持っています。	2-2.環境にやさしい、みどり豊かなまちづくり (1)将来にわたって快適な生活環境の確保 P19～21
○緑による心理的安定効果や、美しく潤いある都市景観を形成する機能を持っています。	2)快適で環境負荷の低減に配慮した市街地の整備・更新
○公園は、規模に応じて火災の延焼を遮断する機能を持っています。	(2)山から海につながる水とみどりの保全と形成
○地震や火災発生時には、地域の緊急避難場所として、また臨時ヘリポートや水や食料等の配給拠点、地域の情報提供の場など、公園の規模に応じてさまざまな機能を持っています。	2)水環境の保全 3)水とみどりのネットワークの形成 4)多様な動植物の育成環境の維持
○規模に応じて、スポーツや健康運動などの場として、憩いの場としての機能を持っています。	2-3.地域で守り育てる景観まちづくり P23～26
○公園美化ボランティアなど地域で公園の維持・管理に取り組むことにより、地域への愛着や地域コミュニティを高める機能を持っています。	2-4.災害に強いまちづくり (1)防災性の向上 P27～29
●公園の外周を囲む植栽が、道路からの視界を遮る場合は、防犯上の課題があります。	(2)防災機能の充実 1)災害に備えた機能の充実
●公園は市内一円にあり、維持管理費がかさむなど、行政だけでは地域に応じたきめ細やかな維持管理が困難です。	2-5.人にやさしいまちづくり P31～32
○公園が整備され緑が豊かな街は、都市としての印象（格）を高める機能があります。	(1)誰もが活動しやすいまちづくり 4)安心して暮らせるまちづくり 5)誰もが利用しやすい施設の整備
	(2)地域で集うまちづくり 2)地域の公園・散策路の充実 3)子どもたちが自然や歴史、スポーツや文化にふれあえる場の充実



中央公園
(都市計画公園・総合公園)



作才公園
(都市計画公園・街区公園)



岡山町山出第1児童遊園
(児童遊園)

まちを構成している要素 ○機能、●課題、*要素の定義や状態など	関連性の深い まちづくりテーマと施策展開
緑地・広場	
○緑地等は、植物からの蒸散作用等により気温を低下させ、ヒートアイランド現象を緩和する機能や、大気汚染緩和などの機能を持っています。	2-1.多彩な魅力と活力を備えたまちづくり (3)地域資源を活かした観光と交流の環境づくり P15～16
○緑地は、法面などの侵食を抑制し、災害危険地を保護する機能を持っています。	
○緑地・広場は、心理的安定効果、美しく潤いある都市景観を形成する機能があります。	2-2.環境にやさしい、みどり豊かなまちづくり (1)将来にわたって快適な生活環境の確保 P19～21
○地域で緑を形成・維持に取り組むことにより、地域への愛着や地域コミュニティを高める機能を持っています。	2)快適で環境負荷の低減に配慮した市街地の整備・更新 (2)山から海につながる水とみどりの保全と形成
○飛び石のようにみどりがつながると、虫などの生息地になることから、ビオトープネットワークの形成に寄与する機能があります。	2)水環境の保全 3)水とみどりのネットワークの形成
●街路樹が道路上の視界を遮る場合は、交通安全上、防犯上の課題があります。	4)多様な動植物の育成環境の維持
○緑道は、憩いの場、健康増進の場としての機能を持っています。	
【その他、まちづくりビジョン市民会議ではこんな意見がありました】 ・古木は、地域の歴史を伝える。	2-3.地域で守り育てる景観まちづくり P23～26
	2-4.災害に強いまちづくり (1)防災性の向上 (2)防災機能の充実 1)災害に備えた機能の充実 P28～29
	2-5.人にやさしいまちづくり (1)誰もが活動しやすいまちづくり 4)安心して暮らせるまちづくり 5)誰もが利用しやすい施設の整備 (2)地域で集うまちづくり 2)地域の公園・散策路の充実 P31～32
墓園	
*墓園は、故人を偲ぶとともに、人と人、人と自然のふれあいの場として、自然的環境と静寂な環境を維持していく公共空地です。	
○墓園は、豊富な緑地帯を有することから、植物からの蒸散作用等により気温を低下させ、ヒートアイランド現象を緩和する機能や、大気汚染緩和などの機能を持っています。	2-2.環境にやさしい、みどり豊かなまちづくり (1)将来にわたって快適な生活環境の確保 3)快適な生活環境の維持 P19～21
○飛び石のようにみどりがつながると、虫などの生息地になることから、ビオトープネットワークの形成に寄与する機能があります。	(2)山から海につながる水とみどりの保全と形成 4)多様な動植物の生息環境の維持
○墓園は、火災の延焼を遮断する機能を持っています。	
○地震や火災発生時には、地域の緊急避難場所としての機能を持っています。	2-3.地域で守り育てる景観まちづくり P23～26
	2-4.災害に強いまちづくり (1)防災性の向上 (2)防災機能の充実 1)災害に備えた機能の充実 P28～29

まちを構成している要素 ○機能、●課題		関連性の深い まちづくりテーマと施策展開	
農 地			
○近年、食の安全で安定的な供給が求められるなか、経済状況の変化を受け、食料供給の場として、働く場としての機能が改めて見直されています。	2-1.多彩な魅力と活力を 備えたまちづくり (2)農林漁業の振興と ふれあい環境づくり 1)優良農地の保全と活用	P15	
○農地では、元来、生ゴミや剪定枝、家畜ふんなどを優良な堆肥に変え、畑に還元して土づくりに活用するなど、地域の資源循環に寄与する機能を持っています。			
○農地からの水分の蒸発や農作物からの蒸散作用により気温を低下させ、ヒートアイランド現象を緩和する機能を持っています。	2-2.環境にやさしい、 みどり豊かなまちづくり (1)将来にわたって快適な 生活環境の確保 2)快適で環境負荷の低減に 配慮した市街地の整備・更新 (2)山から海につながる 水とみどりの保全と形成	P19 ～21	
○地表面がアスファルトなどで覆われ、土壌への雨水浸透量が低下するなかで、農地は地下水を涵養する機能を持っています。			
○観光農園、市民農園、農業体験農園など、身近なレクリエーション・コミュニケーションの場としての機能を持っています。	2-3.地域で守り育てる 景観まちづくり	P23 ～26	
○農作物の育成を通して、自然の仕組みや営みを学ぶ場としての機能を持っています。			
○緑の広がりによる心理的安定効果や、美しく潤いある景観を形成する機能を持っています。	2-4.災害に強いまちづくり (1)防災性の向上	P28 ～29	
○多様な生物の生息地としての機能を持っています。			
○農地は、火災の延焼を遮断する機能を持っています。	2-5.人にやさしいまちづくり (2)地域で集うまちづくり 3)子どもたちが自然や歴史、スポーツや文化にふれあえる場の充実	P32	
○地震や火災発生時には、緊急避難地や仮設住宅の建設地などとしての活用が期待されます。			
●市街地内の農地は、迷惑施設とされる場合があります。			
●不適切な農業使用による人や生物への悪影響が懸念されます。			
○生産緑地地区は、将来必要となる公共施設等の用地として確保しておく機能も持っています。			
山(樹林地)			
○地球温暖化の主要な原因である二酸化炭素を森林は吸収・貯蔵しています。	2-1.多彩な魅力と活力を 備えたまちづくり (2)農林漁業の振興と ふれあい環境づくり 2)樹林地の保全と活用 3)漁業資源の保全と活用 (3)地域資源を活かした 観光と交流の環境づくり	P15 ～16	
○山(広葉樹林)は、雨水を地中に浸透させ、保水する機能があります。また雨水が地中に浸透する過程で水を濾過したり、化学物質を吸い取って水を浄化したりします。→水源涵養機能			
○多様な動植物の生息地としての機能を持っています。	2-2.環境にやさしい、 みどり豊かなまちづく (2)山から海につながる 水とみどりの保全と形成	P20 ～21	
○美しい景観をはじめ、人の五感を通してやすらぎを感じさせてくれる働きがあります。そのためレクリエーション活動、教育の場、また山を維持する活動を通じて、地域への愛着やコミュニティを高める機能を持っています。			
○木が生育している山の地表は落枝落葉や草などに覆われ、降雨などによる土壌の侵食や流出が抑えられます。	2-3.地域で守り育てる 景観まちづくり	P23 ～26	
●裸地は、地震や局地的な集中豪雨が発生した場合、土石流、地すべり、山崩れなどによる災害の恐れがあります。			
	2-4.災害に強いまちづくり (1)防災性の向上 2)風水害・土砂災害に強いまちづくり	P28	
【その他、まちづくりビジョン市民会議ではこんな意見がありました】 ・食の安全で安定的な供給が求められるなか、竹の子など食料供給の場として、またバイオマスなど燃料資源供給の場としての機能を見直す必要がある。			
	2-5.人にやさしいまちづくり (2)地域で集うまちづくり 3)子どもたちが自然や歴史、スポーツや文化にふれあえる場の充実	P32	

まちを構成している要素 ○機能、●課題	関連性の深い まちづくりテーマと施策展開	
河川・水路 ○雨水を安全に流下させる治水機能と農業に必要な水を供給する利水機能があります。 ●ごみの投棄や他の地域からごみが漂着することにより、治水、利水機能を低下させると共に、景観阻害や悪臭発生などの課題があります。 ○河川は風の通り道となり、ヒートアイランド現象を緩和する機能があります。 ○美しい河川・水路は、生物の生息地であり、また憩いの場や景観を形成する機能を持っています。 ●転落事故等がないよう、注意が必要です。 ○降雨時には、舗装された地表面に降った雨水を海に流す機能を持っています。 ●台風や局地的な集中豪雨が発生した場合、河川・水路は洪水の恐れがあります。 ○災害時には、混乱により消防車が到達できないことや、水道などのライフラインが使用できなくなることが想定されます。このような際に、河川・水路の水は消火水やトイレの排水として利用することができます。 ○農業用水をはじめ生活にかかわり利用されてきたことから、水脈をとおして形成された文化・歴史があります。 ○地域で、河川・水路の機能維持・活用に取り組むことにより、文化・歴史を伝え、地域への愛着やコミュニティを高める機能を持っています。	2-1.多彩な魅力と活力を 備えたまちづくり (2)農林漁業の振興と ふれあい環境づくり (3)地域資源を活かした 観光と交流の環境づくり 2)自然・スポーツ・文化資源の活用 2-2.環境にやさしい、 みどり豊かなまちづくり (1)将来にわたって快適な 生活環境の確保 2)快適で環境負荷の低減に 配慮した市街地の整備・更新 3)快適な生活環境の維持 (2)山から海につながる 水とみどりの保全と形成 2-3.地域で守り育てる 景観まちづくり	P15 P19 ～21 P23 ～26
ため池 ○農地を潤す水源としての機能を持っています。渇水時には貯水機能があります。 ●農地の減少や農業従事者の高齢化に伴い、ため池の維持・管理が難しくなっています。 ○ため池は、河川と共に風の通り道となり、ヒートアイランド現象を緩和する機能があります。 ○美しいため池は、生物の生息地であり、また憩いの場や景観を形成する機能を持っています。 ●転落事故等がないよう、注意が必要です。 ○台風や集中豪雨が発生した際、ため池に雨水を貯めて、周辺への被害を軽減する機能を持っています。 ●地震や局地的な集中豪雨が発生した場合、堤防決壊による災害の恐れがあります。 ○災害時には、混乱により消防車が到達できないことや、水道などのライフラインが使用できなくなることが想定されます。このような場合に、ため池に貯留されている水は消火水やトイレの排水として利用することができます。	2-4.災害に強いまちづくり (1)防災性の向上 (2)防災機能の充実 1) 災害時に備えた機能の充実 2-5.人にやさしいまちづくり (2)地域で集うまちづくり 2)地域の公園・散策路の充実 3)子どもたちが自然や歴史、スポーツや文化にふれあえる場の充実  久米田池	P28 ～29 P32

まちを構成している要素 ○機能、●課題、*要素の定義や状態など		関連性の深い まちづくりテーマと施策展開		
建築物				
一般建築物				
* 建築物は、住宅・店舗・工場・業務施設など、さまざまな場面で私たちを支える空間です。このため、安全で快適な暮らしの環境を維持・形成するためには、建築物の用途・形態・構造について、各々が周辺に及ぼす影響に配慮しながら、建築し維持することが必要です。 * 同様の用途の建築物を集めることにより、それぞれの用途に応じた環境を形成できます。また住宅と店舗・工場・業務施設など複数用途の建築物が共存することにより、経済活動（生産・販売・購買）やそれぞれの知恵を地域で共有し循環させることができます。 * 二酸化炭素排出量の削減に配慮した構造・設備は、環境負荷低減に寄与。 * 建築物の形態に関するルールをつくることにより、良好な地域環境や景観の保全・形成ができます。 * 地震発生時には、建築物が倒壊し建築物内に閉じ込められる恐れがあります。また倒壊した建築物や塀などで避難路が塞がり、避難や救援活動が困難になります。 * しかし、建築物や塀は耐震化により、倒壊を抑えることができます。 * 木造建築物が連なる市街地においては、地震や火災発生時には延焼が拡大します。 * しかし、空間の確保や建築物の不燃化により、延焼を遅らせることができます。		2-2.環境にやさしい、みどり豊かなまちづくり (1)将来にわたって快適な生活環境の確保 2)快適で環境負荷の低減に配慮した市街地の整備・更新 3)快適な生活環境の維持 (2)山から海につながる水とみどりの保全と形成 3)水とみどりのネットワークの形成 4)多様な動植物の生息環境の維持 2-3.地域で守り育てる景観まちづくり 2-4.災害に強いまちづくり (1)防災性の向上 2-5.人にやさしいまちづくり (1)誰もが活動しやすいまちづくり 5)誰もが利用しやすい施設の整備 6)ユニバーサルデザインに配慮した住宅の供給		P19 ～21 P23 ～26 P28 ～29 P32
公共建築物				
○不燃化構造かつ空地を有する公共建築物は、火災の延焼を遮断する機能を持っています。 ○災害発生時には、市役所や消防庁舎は、災害対策の指揮命令中枢機能を持っています。 ○災害発生時には、公共建築物は、避難場所、応急・医療救護所、応援部隊受入・活動拠点、配送・物資拠点など、さまざまな機能をもっています。		2-1.多彩な魅力と活力を備えたまちづくり (1)都市型産業の振興と交流のための拠点づくり 2-2.環境にやさしい、みどり豊かなまちづくり (1)将来にわたって快適な生活環境の確保 2)快適で環境負荷の低減に配慮した市街地の整備・更新 3)快適な生活環境の維持 (2)山から海につながる水とみどりの保全と形成 3)水とみどりのネットワークの形成 4)多様な動植物の生息環境の維持 2-3.地域で守り育てる景観まちづくり 2-4.災害に強いまちづくり (1)防災性の向上 (2)防災機能の充実 2-5.人にやさしいまちづくり (1)誰もが活動しやすいまちづくり 5)誰もが利用しやすい施設の整備 6)ユニバーサルデザインに配慮した住宅の供給 (2)地域で集うまちづくり 1)既存建築物の有効活用		P14 ～15 P19 ～21 P23 ～26 P28 ～29 P32
【その他、まちづくりビジョン市民会議ではこんな意見がありました】 ・公共施設の整備にあたっては、二酸化炭素排出量の削減に配慮した構造・設備にする必要がある。				

まちを構成している要素 ○機能、●課題、*要素の定義や状態など		関連性の深い まちづくりテーマと施策展開	
水 道			
○居住、社会・経済活動に不可欠な水を、安全で安定した供給を行う役割を担っています。		2-2.環境にやさしい、 みどり豊かなまちづくり (1)将来にわたって快適な 生活環境の確保 3)快適な生活環境の維持	P19
下水道・下水処理場			
○下水道（汚水）は、家庭や事業所で使って汚れた水を污水管で集め、終末処理場できれいな水に処理した後、海に流します。これにより、トイレを水洗トイレに改造でき、快適な生活を過ごすことができます。		2-2.環境にやさしい、 みどり豊かなまちづくり (1)将来にわたって快適な 生活環境の確保 3)快適な生活環境の維持 (2)山から海につながる 水とみどりの保全と形成 2)水環境の保全	P19 ～21
○生活雑排水をきれいな水にして海に流すため、海・河川・水路がきれいになり、衛生的な生活環境を確保すると共に、環境の保全、漁場の維持、良好な景観形成などの機能を持っています。			
○一箇所に集めて処理することで、処理水や汚泥焼却灰を有効利用するなど、資源リサイクルにも取り組むことができます。			
○下水道（雨水）は、降雨時に、宅地や道路など舗装された地表面に降った雨水を雨水管で集め、川や海に排水する機能を持っています。			
●地表面の舗装化及び雨水排水管・水路整備が進み、地下水位の低下や河川流量の減少により、生物の生息空間としての機能に影響を与えています。			
清掃工場			
○分類されたごみは、分類ごとに収集車で集め、燃やすごみは焼却処理を行い最終処分地へ搬送します。資源となるごみは中間処理を行い、再生利用を行います。		2-2.環境にやさしい、 みどり豊かなまちづくり (1)将来にわたって快適な 生活環境の確保 3)快適な生活環境の維持	P19 ～20
【その他、まちづくりビジョン市民会議ではこんな意見がありました】 ・リユースシステムなど、ごみを出さない暮らしへの転換が必要。			
その他の処理施設			
*省エネ・リサイクル社会への移行を受けて、これまで廃棄物として処理されてきたものを資源として活用する事業所が増えています。		2-3.地域で守り育てる 景観まちづくり	P23 ～26
【その他、まちづくりビジョン市民会議ではこんな意見がありました】 ・リユースシステムなど、ごみを出さない暮らしへの転換が必要。		2-4.災害に強いまちづくり (2)防災機能の充実 2)緊急時の情報共有体制の充実	P29
火葬場			
*火葬は、火葬場以外の施設で行ってはならないことから、必要不可欠な施設です。			
○火葬することにより、有害な細菌類を死滅させ、伝染病等の予防効果があります。また、腐敗・悪臭を生じさせないなど、周辺環境の悪化を防ぐなどの効果があります。			